

# 「幼児教育に関わる実態調査」の結果について ＜保護者ダイジェスト版＞

〔幼稚園、保育所、認定子ども園の保護者の皆様〕

県では、幼児教育の充実のために、「学び土台づくり」推進計画を平成23年3月に策定しました。その計画を推進していくことを目的に、本調査を昨年10月に実施しましたので、保護者対象の調査結果をダイジェスト版としてお知らせします。

各家庭において、これまでのお子様の生活について振り返る資料として御活用ください。

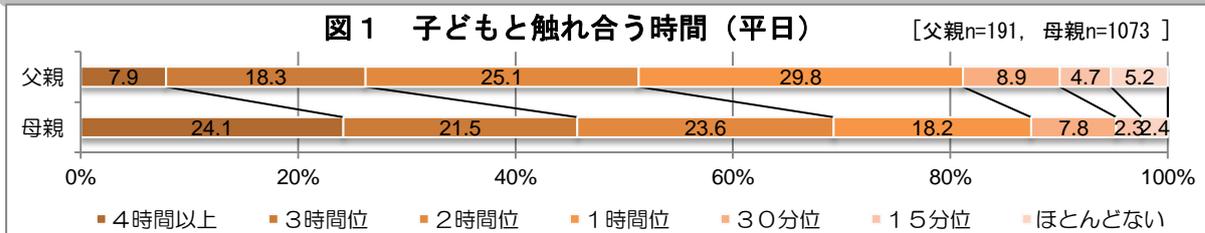
平成25年2月 宮城県教育委員会

対 象：県内の全ての幼稚園、保育所、認定こども園の全教員と保育士及びその保護者  
 回答方法：インターネットによる回答  
 調査内容：「学び土台づくり」推進計画の4つの目標に関する内容  
 親子間の愛着形成の促進、基本的生活習慣の確立、豊かな体験活動による学びの促進、  
 幼児教育の充実のための環境づくり

## 1 親子の関わりについて

■：調査結果 □：ワンポイントアドバイス

### ◇親子の触れ合いによって子どもの「心の緊急避難基地」を



■ 平日に子どもと触れ合う時間が1時間以内と回答した父親は全体の約5割、母親は約3割でした（図1）。

触れ合う内容として、「本の読み聞かせ」、「外遊び」など、親が意識的・積極的に関わるもの回答はあまり多くなりませんでした（表1）。

□ 「三つ子の魂百まで」。「心の緊急避難基地」をもった子どもは主体的に活動できるとされていますので、幼児期の親子の触れ合いを大切にしましょう。

表1 子どもと触れ合う内容（複数回答）

[父親n=191, 母親n=1073] (件)

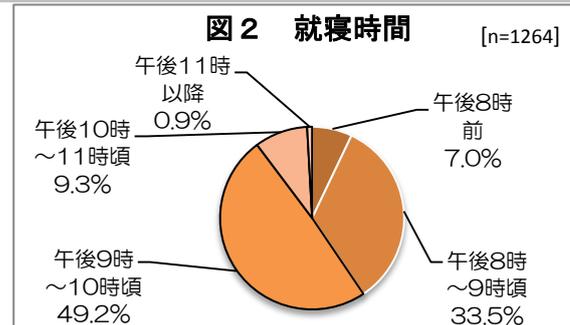
内 容	父親	母親
一緒に話をする	172	974
テレビやビデオなど見る	117	757
お絵かきやおもちゃなどの遊び	117	659
読み聞かせをする	70	623
散歩をしたり外で遊んだりする	45	464
ひらがなや数字などの学習をする	35	404
テレビゲームをする	24	109

## 2 子どもの基本的生活習慣について

### ◇10歳までは夜9時までに寝る習慣を

■ 起床時間は良好でしたが、「午後9時以降に寝る」回答の割合が全体の約6割と高い状況でした（図2）。

□ 睡眠時間が脳の発達や体の成長に大きく影響します。  
 10歳までは夜9時までに寝かせるように、家庭で寝る時間の約束を決めてみましょう。



## ◇おかすかできるだけたくさんある朝食を

■ 朝食の摂取の割合は全体の 96.2%とよい傾向でしたが、主食・主菜・副菜をバランスよく摂っている家庭は全体の約4割でした（表2）。

□ おかすかたくさんある朝食で、脳の活動が高まります。

おかすかできるだけたくさんある朝食をとるために、前の晩のおかずや休みの日に作りおきする工夫もしてみましょう。

表2 朝食の内容 [上位7位まで抜粋, n=1264]

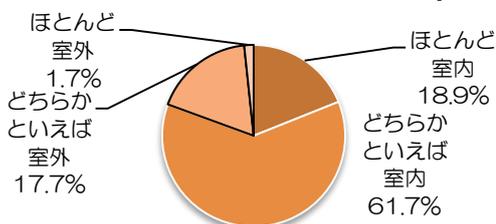
内容	割合 (%)
「主食」,「主菜」,「副菜」,「その他」	30.5
「主食」,「主菜」,「その他」	17.4
「主食」,「その他」	17.4
「主食」,「主菜」,「副菜」	11.9
「主菜」	8.5
「主食」,「副菜」,「その他」	6.4
「主食」,「主菜」	5.6

## ◇親子一緒に外で遊び機会を

■ 遊ぶ場所について、「室外」又は「どちらかといえば室外」と回答した割合が全体の約2割と低い状況でした（図3）。

□ 県内の子どもの体力が低下傾向にあり、睡眠習慣と食習慣との規則正しい生活リズムにもつながりますので、家庭においても、親子一緒に外で遊ぶ機会を作るようにしましょう。

図3 遊ぶ場所 [n=1264]

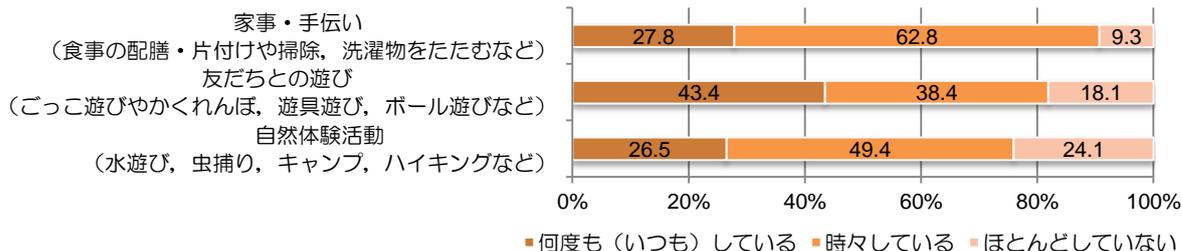


\*県では、家庭や学校、地域、企業、団体、行政等が連携・協力し、睡眠、食習慣、遊び・運動など子どもの基本的な生活習慣を確立していくことを目的に、平成21年11月に「みやぎっ子ルルルル推進会議」（会長：村井宮城県知事）を設立し、その活動の推進と普及啓発を図っています。「ルルルル」とは、子どもの健やかな成長に必要な「しっかり寝る、きちんと食べる、よく遊ぶで健やかに伸びる」から取ったものです。

## 3 子どもの体験活動について

### ◇幼児期に様々な遊びや身近な体験活動を

図4 体験活動の頻度 [n=1264]



■ 体験活動を「何度も (いつも) している」と回答した割合は全体の3~4割でした（図4）。

家庭で行ったり参加させたりするのが難しい体験活動については「困難体験活動」「宿泊体験活動」の回答が多くありました（表3）。

□ 幼児期に、遊びを通して人や物、自然とかかわった体験は、その後、物を考えたり感じたりするときの素地となる大切なものです。

様々な遊びや身近な体験活動に取り組みせていきましょう。

表3 家庭で行うのが難しい体験活動 [n=1264]

内容 (複数回答)	件数
困難体験活動	744
宿泊体験活動	637
交流体験活動	498
動植物との触れ合い	486
自然体験活動	405
友だちとの遊び	357
地域体験活動	302
生活体験活動	138
特になし	110